



放課後

子どもたちが下校した後の学校では何があっているのか。その一部を紹介します。

■教材研究

端的に言えば、授業の準備です。どのような授業を行えば、子どもたちが楽しく、よりわかりやすく授業内容を理解できるか、その授業を通してつける力をしっかりつけさせることができるかを経験年数に関係なく日々研鑽しています。これをしないと、時代応じた授業の提供が厳しくなります。

■行事の準備

運動会や修学旅行、卒業式などの大きな行事から体験活動など授業に直結するようなものまで多岐にわたって計画したり、外部と日程調整をしたりしています。

■プリントのチェックや採点

授業で行ったプリントやテストのチェックや採点を通じて子どもたち一人ひとりの成果と課題を把握します。

■放課後の生活指導

場合によっては地域の皆様から届けられた子どもたちの放課後の生活に関する指導に現場に赴くこともあります。

■会議や研修会

職員会議をはじめとした諸会議や教科や子どもたちの健やかな成長の為の研修会を行います。

このように多岐にわたる業務を先生方は一人でいくつも抱えながら限られた放課後の時間を過ごされています。ですから、放課後に子どもたちが諸事情で居残っても、それには対応できないのが現状であり、居残る際には令和7年12月1日に配信した文書をよくお読みください。